

広島修道大学産学官連携事業

株式会社ボナンザ様と共同開発を行いました

広島修道大学×ボナンザ 協働開発商品 『タッチパネル用マルチリキッド』

商学部の川原直毅教授が株式会社ボナンザ（以下、ボナンザ）とコラボし、スマートフォンやタブレット端末、パソコン等のタッチパネル用クリーナー「マルチリキッド」を共同開発しました。

本学と大阪の株式会社ボナンザ・岡本敏和社長の共同開発によるタッチパネルは、フッ素樹脂の特性を活かした製品です。ご存知のように、テフロン加工したフライパンは油を注ぐことなく調理が出来ます。これと同様に、フッ素樹脂加工した製品タッチパネルはスマホなどの表面を鏡面加工でき、指の皮脂を付きにくくします。これによってアプリの起動が早くなり、また、スマホの表面を防汚から守ります。僅か1滴で3日は持ちます。付属の布で拭けば、乾いても液が含侵しているの非常に便利です。



株式会社ボナンザ
岡本敏和社長

川原直毅【広島修道大学商学部教授】



●専門分野

マーケティング・リサーチ

●主な研究テーマ

- 1.消費者購買行動とマーケティング諸活動に関する研究
- 2.地域商業問題を踏まえた地方創生、地域再生
- 3.新商品開発とブランディング・販路開拓
- 4.商店街活性化の方策
- 5.地域資源、農商工連携による新商品開発と販路開拓

●論文

- 1.著書 広島市広域商圈調査報告書（単著）
- 2.著書 商店街衰退要因と商業イノベーションの相関について（単著）
- 3.論文 「中小企業のマーケティング戦略とブランド構築～市場価値の形成～」(単著)